

石川県共生社会コンファレンス
2025年1月31日

なぜ障害者の生涯学習が必要なのか

津田英二（神戸大学）



1

つだっちの自己紹介

- 1998年から神戸在住。
- 神戸大学では、後で紹介する「のびやかスペースあーち」の運営や「学ぶ楽しみ発見プログラム（KUPI）」の実践など、障害のある人たちの学びの場づくりを楽しんでいます。
- 2018年、文部科学省「学校卒業後の障害者の学びの推進に関する有識者会議」委員。現在は、ひょうご障害者の生涯学習連携コンソーシアム座長。
- 2019～2023年度 神戸大学附属特別支援学校校長。



KUPIを紹介していただいたオンライン雑誌（ダイヤモンド社）の記事です。



2

生涯学習って誰のもの？

「なぜ障害者の生涯学習が必要なのか？」というテーマが成り立つとしたら、生涯学習が必要な人とそうでない人がいる、ということになります.....か？

3

教育基本法

（生涯学習の理念）

第三条 国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。

社会教育法でも、「すべての国民があらゆる機会、あらゆる場所を利用して、自ら実際生活に即する文化的教養を高め得るような環境を醸成するように努めなければならない」ってなってるね。



4

さらに

5

障害者権利条約 （国連総会で2006年に採択、日本は2014年批准）

第24条 締約国は、教育についての障害者の権利を認める。締約国は、この権利を差別なしに、かつ、機会の均等を基礎として実現するため、**障害者を包容する**あらゆる段階の教育制度及び**生涯学習**を確保する。



包容：インクルードの和訳です。インクルードは、エクスクルード（排除）の反意語。したがって、包容は**排除と反対の動き**を示す言葉なんです！

6

すなわち、「インクルーシブな生涯学習」
という発想の根底には、**学びからの排除**に
対する問題意識がある、ということです。



7

今こそすべての日本国民に問います

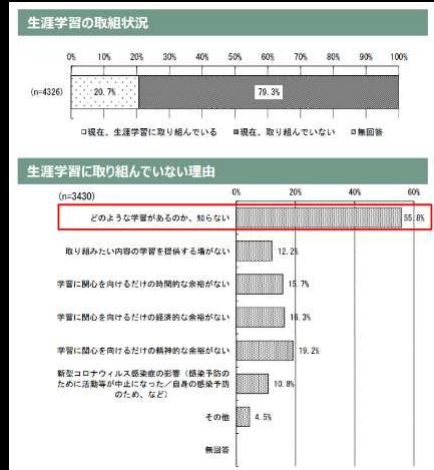
- みなさんが思い浮かんだり体験したりした
「学びからの排除」には、どんなことがありますか？
- 「学びからの排除」によってどんな不利益が生じているのでしょうか？

例えば、特別支援学校高等部卒業生の進学率は1.7%
(知的障害のある卒業生に限ると0.4%) (2023年度学校基本調査)。どう思う？



8

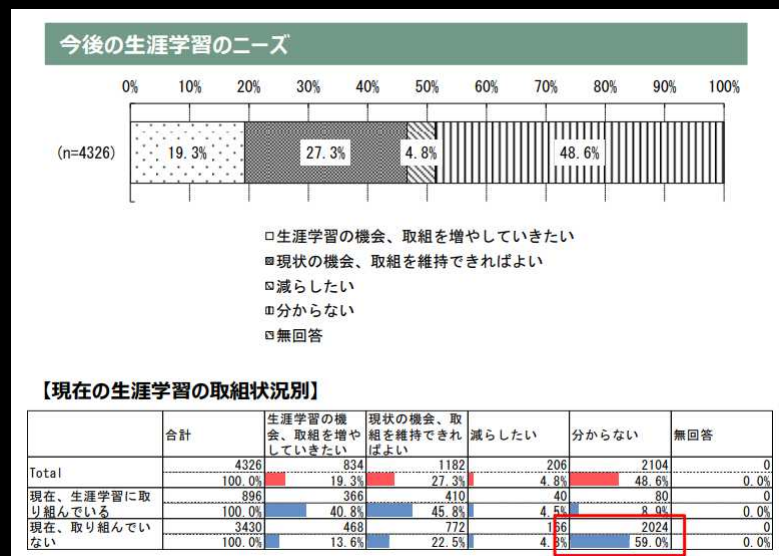
障害当事者やその保護者の 生涯学習ニーズについて



文科省「障害者本人を対象とする調査」（18歳以上の障害者等を対象としたWEB調査、2023年1月実施）N=4326

- ・ 現在、生涯学習に取り組んでいない人が79.3%。
- ・ 「どのような学習があるのか、知らない」とする回答者の多さ。

9



ニーズの有無以前に、
生涯学習とはなんぞや？
というレベルの問題

10

「生涯学習」っていう言葉への抵抗についてでも考えないといけないですね。

- 「学習？興味ないから」
- 「勉強は学校だけで十分だよ」
- 「日々の生活と仕事で精一杯」

.....



気持ちは、
わかるわー

学習権は未来のためにとっておかれる文化的ぜいたく品ではない。それは、生存の欲求が満たされたあとに行使されるようなものではない。学習権は、人間の生存にとって不可欠な手段である。 ユネスコ「学習権宣言」1985年

11

兵庫県内で実施した調査結果から

療育手帳所持者を主たる対象の調査としました。

有効回答数は811件。

自由時間に活動をしたいと思っているけど、実際には活動に参加できていない人が、全体の半分もいる！

自由時間の活動への意欲が高い		
活動高ニーズ群	積極的活動群	
現在、自由時間に取り組んでいる活動がない 453名	246名	現在、自由時間に取り組んでいる活動がある
停滞群	消極的活動群	
98名	14名	
自由時間の活動への意欲が低い		

詳細は、「障害者の生涯学習を推進する兵庫県コンソーシアム関連情報」ページからダウンロードできます。

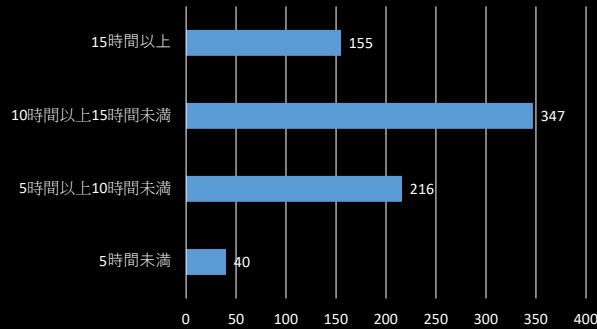
<http://www2.kobe-u.ac.jp/~zda/hyogo-consortium.html>

12

自由時間

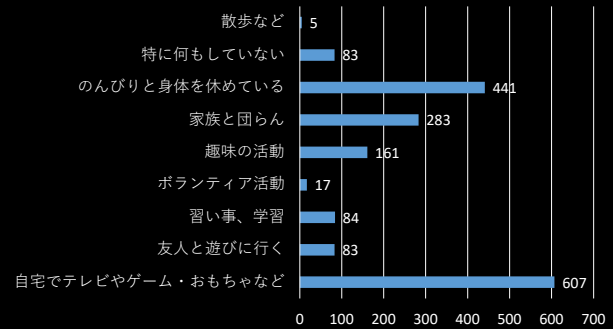
有効回答数 811

休日の自由時間



休日は、自由時間が10～15時間である人が多かった。また、15時間以上の人も多くいた。

自由時間の過ごし方



テレビやゲーム、おもちゃで自由時間を過ごす人が多かった。他方、趣味の活動は18%にすぎず、学習やボランティア活動と答えた回答者も少なかった。

13

兵庫県のアナケート調査による当事者や家族の声

自由回答の記述を読むと.....

以前は休日はヘルパーさんとお出かけしてましたが、行くところもなくなってしまい、今は家族が行き場所を探し連れ出しています。元々身体を動かすことが好きなので、スポーツサークルがあればいいのにといつも思っています。

施設に入ったら、食べて寝るだけです。

同世代の人と交流する機会がなくなり、何か習い事を探しても、通いにくいところが多い。また、情報自体がなかなか入ってこない。公的な場所でサークル的なものがもっとあれば、と常々思っている。

14

実際には、日本中に細々とした実践も含めて、
たくさんの取り組みがあります。



兵庫県の学びの場検索
アプリ（まなプリ）は
こちらからどうぞ。

石川県にはどんな実践がありますか？

ちなみに、兵庫県のコンソーシ
アムでは、障害者の生涯学習実
践情報を収集・発信するアプリ
を運用しています。

